

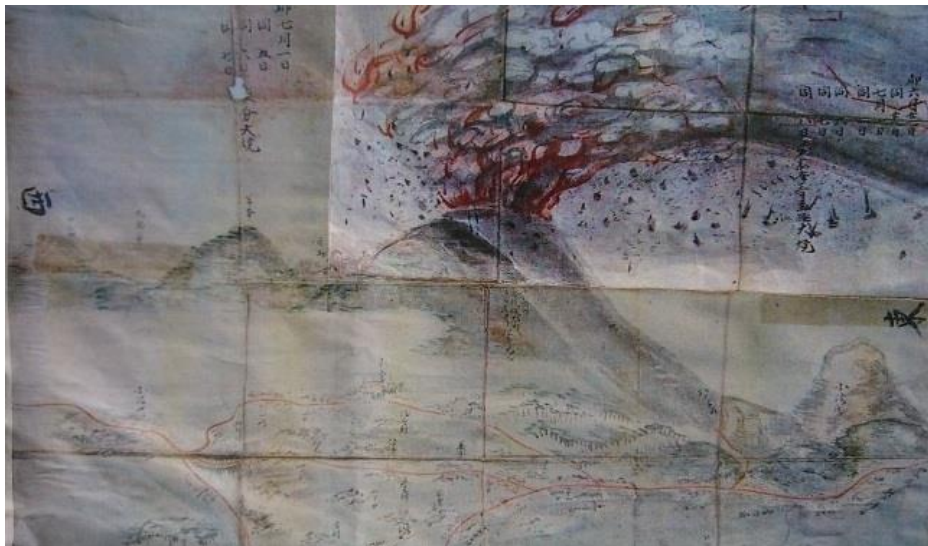
丸山柯則の残した「天明三年浅間山噴火記録絵図」の説明

1



浅間山噴火前の平日風景を穏やかな噴煙とともに描写しています。(説明書きは『天明三ヨリ四歳迄記録』を参考に添え書きしました。詳しくは同書をご覧ください。)

3



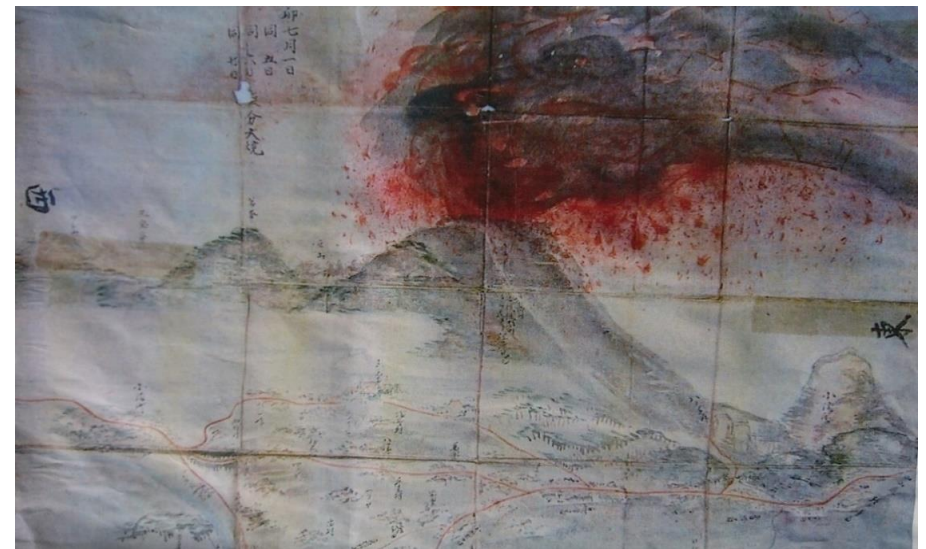
旧暦7月6日午後2時、大鳴動とともに黒煙が噴き上げ数千丈、天を覆い、噴煙の中で稲光が火打石からの極光の如く飛散し、火口からは火炎が噴き上げ鳴動が強くやみませんでした。

2



旧暦5月26日午前10時、突然雷の如く鳴り渡り、黒煙が雲の峰の如く噴き上げました。それも正午頃には煙も半分になり、雷鳴のような音と響きも収まりました。でも日夜この日から煙が太く出続けました。

4



旧暦7月7日に至っても浅間山は鳴りやまず、碓氷山・軽井沢までも大石が降り、硫黄火によりあたり一面焼き尽くされました。